

令和3年度 自己評価結果

学校法人 なんば学園 日本橋幼稚園

1. 園の教育目標

大切な幼児期を「あかるく すなおで すこやかに」過ごせるように
さまざまな経験や活動を実施し、たくましい身体と豊かな表現力を
育てる

2. 今年度の重点的に取り組む目標と計画

- ◎ コロナ禍でも子どもたちがのびのびと活動できる教育活動の充実
- ◎ 安心して安全な園生活のための取り組み
- ◎ 異年齢活動ならではの育ちあう姿がたくさん見られるように活動内容を工夫する

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目		取 組 み 状 況
保育の計画性	B	<ul style="list-style-type: none">・テーマ保育を取り入れることで、子どもたちが結果でなく主体的に考えて行動することを大事にしてきた・園児ひとりひとりの発達の理解を深め、支援を必要とする子どもにとってもより良い教育が行える体制を充実させた・教職員同士で園児の話や保育のことを話す時間は多くあったが、全職員で子どもたちの発達理解を深める話し合う時間はあまり持てなかった・昨年度は、園内での生活発表会だったが、今年度は、例年通り大きなホールでの発表を経験させてあげることができ、1年間培ったことをのびのびと表現でき大きな自信となった

<p>保育のあり方 子どもへの対応</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが主体的に活動し、遊びがより充実できるよう職員間の共通理解の中で保育に臨んだ ・がんばったことやよくできたことは、褒めてよいところを伸ばしてあげる ・特別な支援が必要な園児に対して全職員が連携を取り合い、視野を広げサポートできた
<p>研修及び 資質 能力の向上</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加することで、保育のプロとして専門的な知識や技術を身に付け、子ども一人ひとりを理解しようと努めている ・子どもたちが楽しく感じ、興味を持てる保育を行えるように研究し、それを保育に取り入れることができた ・今年度もリモート研修がほとんどだったが、園内で研修を受けられるので、参加しやすかった ・ベテラン教諭は日頃から経験年数の浅い保育教諭を信頼し見守る姿勢で、時にはフォローし教諭らが自主的に保育できるよう心掛けた
<p>保護者への対応</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の質問や要望に対し、担任だけではなく園全体で話し合い、園の考えを理解していただくとともに、保護者の立場になって考えることを心掛け、担任を中心に園と保護者のかかわりを密にし、強い信頼関係を結ぶ努力を今後も継続していく ・コロナ禍でできていなかった保育参観を実施でき、保護者の方々は、実際、園で生活する子どもたちを見て喜んでおられた

<p style="text-align: center;">防災と 安全管理体制 の充実</p>	<p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2ヶ月に1回の地震火災の避難訓練を行うことができ、子どもたちの意識を高められた ・ 園庭や園舎内で子どもたちが安心して活動できるような環境を整えられるよう努力している
--	--------------------------------------	--

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p style="text-align: center;">B</p>	<p>子どもたちがのびのびと遊ぶことができ、全身を使って遊ぶ姿や挑戦してみようとする姿が見られる</p> <p>今後も子どもたちの興味や関心を引き出せるような環境や安心・安全に遊ぶことができるよう導いていく</p> <p>コロナ禍で行事の変更や延期があったが、どのような状況でも保護者に園の思いや考えを伝える工夫ができていた</p> <p>安全点検については、とてもあいまいだったので、安全点検票を作り定期的にきちんと点検をし、修繕するようにする</p>
--------------------------------------	---

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

5. 令和4年度に取り組むべき課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き保護者に園と共通認識を持っていただけるように必要に応じて、メール・園だより・ホームページなどを通して発信していく ・ 気付きを共有できる場や話しやすい雰囲気づくりなど、更なる職員同士の連携の在り方を考える ・ 子どもたちに、より深い学びや感性を育てるためには、自分自身も実際に様々な体験や経験をして、自らの感性を磨くようにする

6. 学校関係者の意見

コロナ禍の各イベントや行事その都度検討し、対応されていると思います
子どもたちへの経験の機会も計画に沿って実行されていると感じた
子どもたちが、安心安全に遊べる環境になるよう努力しており、概ね目標を達成できていた

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる